

脱落サンプルと残存サンプルとの比較分析

① 第 22 回から第 23 回調査にかけての脱落数・脱落率について

第 22 回調査の回答と第 23 回調査の回答の状況から、脱落サンプル（第 22 回調査に回答し、第 23 回調査に回答していないサンプル）・残存サンプル（第 22 回調査に回答し、第 23 回調査にも回答したサンプル）の件数等について、表 1 のように整理をした。

本人対象の調査票の脱落サンプル数が 3,032 件、保護者対象の調査票の脱落サンプル数は 2,424 件となった。本人・保護者いずれも 1 割以上が脱落している。

表 1 第 22 回調査の回答サンプル数と第 23 回調査での残存・脱落サンプル数

	第22回調査 回答サンプル数	第23回調査 残存サンプル数	第23回調査 脱落サンプル数	第23回調査 脱落率
本人	19,463	16,431	3,032	15.6%
保護者	21,117	18,693	2,424	11.5%

② 第 22 回調査における脱落・残存別の回答傾向の違い

第 23 回調査での残存サンプルと脱落サンプル別に、第 22 回調査の回答結果について比較を行った。検討を行った各項目について、検定結果を表 2(本人)と表 3(保護者)に示した。

本調査では第 19 回の調査から、オンライン回答を先行して実施し、回答のなかった対象者に紙の調査票を郵送し、それでも回答がなかった場合は、もう一度、紙の調査票を郵送して回答を求めるという手法で調査を行っている。

本人票及び保護者票ともに、この回答方法による違いがみられる。脱落サンプルでは、「オンライン」での回答割合が低く、「紙の調査票」の回答割合が高くなっている。

そのほか、本人票では「配偶者の有無」「体の健康状態」「学校の在学」「アルバイト等をした理由」「現在の就職内々定」「奨学金の受給」「将来についての考え」「仕事をやめた経験」が影響している。回答の傾向については、表 2 の通りとなっている。

保護者票では、「回答者」「母親の就業状況」「父親の就業状況」「父親の就労収入」「体の健康状態」が脱落に影響している。子供に関わる内容については「在学か非在学か」「学費の家庭の負担割合」「奨学金受給の有無」「生活費の負担割合」が脱落に影響している。回答の傾向については、表 3 の通りとなっている。

注記) 検定は、カテゴリーの選択肢質問では「独立性の検定」を、数値回答の質問では「平均値の T 検定」で有意確率(p 値)を求めた、P 値が 0.001 未満の場合には***、0.01 未満の場合には**、0.05 未満の場合には*の記号で表中に示した。

表2 第22回調査の残存サンプルと脱落サンプルの回答結果比較分析（本人票）

連番	問番号	調査事項・項目	検定結果	回答傾向
1	回答区分	「オンライン」か「紙の調査票」か	***	脱落サンプルの方に「紙の調査票」の割合が高い
2	問2	配偶者が「いる」か、それ以外か	**	脱落サンプルの方に「いる」の割合が高い
3	問8	体の健康状態が「良い（計）」か、それ以外か	***	残存サンプルの方に「良い（計）」の割合が高い
4	問10	現在の状況が「在学している（計）」か、それ以外か	**	残存サンプルの方に「在学している（計）」の割合が高い
5	問15 ② ※1	アルバイト等をした理由は何かについて。「アルバイト等に興味があったから」か、それ以外か	***	残存サンプルの方に「アルバイト等に興味があったから」の割合が高い
6	問15 ② ※1	アルバイト等をした理由は何かについて。「良い経験になったと思ったから」か、それ以外か	***	残存サンプルの方に「良い経験になったと思ったから」の割合が高い
7	問20 ※2	現在、就職内々定を「得ている」か、それ以外か	***	脱落サンプルの方に「得ている」の割合が高い
8	問24 ※2	令和4年（2022年）4月から令和5年（2024年）3月に、奨学金を「受給した」か、それ以外か	***	脱落サンプルの方に「受給した」の割合が高い
9	問34 ※3	将来についての考えで「今の勤め先で働き続ける」か、それ以外か	*	残存サンプルの方に「今の勤め先で働き続ける」の割合が高い
10	問40 ※4	令和4年（2022年）4月以降に仕事をやめた経験が「ある」か、それ以外か	**	脱落サンプルの方に「ある」の割合が高い

連番注記

- 1 紙の調査票による回答は、1回目と2回目をまとめた
- 2 「それ以外」には無回答を含む【以下同様】
- 3 「良い（計）」は「とても良い」と「まあ良い」の計
- 4 「在学している（計）」は「在学していて、働いていない」「在学しながら、パート・アルバイト（非常勤の仕事）をしている」「在学しながら、就業（常勤の仕事）をしている」の計
- ※1 問10で「在学していて、働いていない」「在学しながら、パート・アルバイト（非常勤の仕事）をしている」「在学しながら、就業（常勤の仕事）をしている」と回答した場合のみが対象
- ※2 問10で「在学しながら、就業（常勤の仕事）をしている」「就業（常勤の仕事）をしている」「パート・アルバイト（非常勤の仕事）をしている」と回答した場合のみが対象
- ※3 問10で「在学しながら、就業（常勤の仕事）をしている」「就業（常勤の仕事）をしている」「パート・アルバイト（非常勤の仕事）をしている」「就業していない」「公共職業能力開発施設等で訓練している（海上技術学校、

准看護師学校養成所などの教育訓練機関を含みます。）」「その他（進学又は就職準備、病気やけがの療養中などです。）」と回答した場合のみが対象

※4 問39で令和4年（2022年）4月以降に学校をやめた経験が「ない」と回答した場合のみが対象

表3 第22回調査の残存サンプルと脱落サンプルの回答結果比較分析（保護者票）

連番	問番号	調査事項・項目	検定結果	回答傾向
1	回答区分	「オンライン」か「紙の調査票」か	**	脱落サンプルの方に「紙の調査票」の割合が高い
2	回答者	回答者が「母」か、それ以外か	*	残存サンプルの方に「母」の割合が高い
3	問1	本人が「一人暮らし」か、それ以外か		有意差なし
4	問2	母親の就業状況が「家事（専業）」か、それ以外か	***	残存サンプルの方に「家事（専業）」の割合が高い
5	問2	父親の就業状況が「勤め（正規の社員・職員で常勤）」か、それ以外か	**	残存サンプルの方に「勤め（正規の社員・職員で常勤）」の割合が高い
6	問3	母親の就労収入の平均値		有意差なし
7	問3	父親の就労収入の平均値	***	残存サンプルの方が高い
8	問4	現在お子さんが通学（在学）しているかについて「はい」か、それ以外か	***	残存サンプルの方に「はい」の割合が高い
9	補問4-2 ※1	お子さんの学費の家庭の負担割合が「8割以上」か、それ以外か	***	残存サンプルの方に「8割以上」の割合が高い
10	補問4-3 ※1	お子さんが奨学金を「受給した」か、それ以外か	***	脱落サンプルの方に「受給した」の割合が高い
11	補問4-6 ※1	お子さんの生活費の負担割合が「8割以上」か、それ以外か	**	残存サンプルの方に「8割以上」の割合が高い
12	問6	体の健康状態が「良くない（計）」か、それ以外か	**	脱落サンプルの方に「良くない（計）」の割合が高い

連番注記

1 紙の調査票による回答は、1回目と2回目をまとめた

2 「それ以外」には無回答を含む【以下同様】

6 「なし」は0とし、無回答は除外した

7 「なし」は0とし、無回答は除外した

12 「良くない（計）」は「あまり良くない」と「良くない」の計

※1 問4で「1 はい」と回答した、お子さんが現在学校に通学（在学）している場合のみが対象